

②電源プラグを電灯線に挿入します。消費電力は0.5W以下という微小なものですから、電源スイッチはつけてありません。アンプの連動ACアウトレットに差し込んでおけば、アンプと同時に点滅して便利です。

③一度電源を入れてから電源プラグを抜いても、しばらくは電荷がたまっているのです。イヤ・スピーカーからはふつうに音を聴くことができますが、聴く場合には必ず電源を入れるようにして下さい。

スピーカーを聴くとき

①スイッチをSPにします。切換えるときは、必ずボリュームを最小に絞ってください。

②スイッチがSPのときは、SRD-5の回路は、アンプ出力端子からスピーカーまで素通りになりますから、このアダプターによりスピーカーの音質に変化を生ずることは皆無です。

SRD-5と専用アンプとの音質の差

SRD-5は、実用上その歪を無視できますから、音質は使用するアンプにより決まります。アンプに高品質のものを使えば、イヤ・スピーカーの音は一層すぐれたものになります。従って専用アンプとどちらが良いかということは、かんたんに一口には言えません。

マルチ・チャンネル・アンプでSRD-5を使用する場合

下図のように、市販の6回路2接点スイッチ（ロータリー又はスライド）で、3点（ S_1 、 S_2 、 S_3 ）で切換えます。不要チャンネルのアンプは電源を切っておくか、又は★印の点に S_4 を増設します。なおSRD-5のスイッチはESにしておきます。

